

病害虫防除技術情報第11号

令和6年8月1日

三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が非常に多い状態が続いています。
園地を見回り、飛来を確認したら防除を行ってください。**

1 対象作物：果樹類（ナシ、ブドウ、カキ、かんきつ類）

2 対象病害虫名：果樹カメムシ類

（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ）

3 発生状況

（1）予察灯（畑・松阪市）における6月第6半旬から7月第5半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは3,714頭（平成990頭）、ツヤアオカメムシでは818頭（平成130頭）、クサギカメムシでは2,028頭（平成302頭）と、いずれも過去10年で最も多い状況です（図1）。

（2）予察灯（御浜町）における6月下旬から7月中旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは38,362頭（平成15,143頭）、ツヤアオカメムシでは1,372頭（平成48頭）と多い状況です（図2）。

（3）フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの6月第4週から7月第3週の誘殺数は、山地（津市白山町川口）では4,871頭（平成1,514頭）、中間地（津市白山町二本木）では5,390頭（平成1,831頭）、平地（松阪市嬉野川北町）では2,307頭（平成415頭）と、いずれも過去10年で最も多い状況です。

（4）フェロモントラップ（御浜町）におけるチャバネアオカメムシの6月下旬から7月中旬の誘殺数は8,647頭（平成896頭）と、過去10年で最も多い状況です。

4 防除の注意事項

（1）飛来数は、ほ場による差が大きい傾向があります。過去に飛来が多かったほ場では特に注意してください。

（2）大雨、強風などの後に、急にほ場へ多数飛来することがあります。

（3）夜間の照明等への飛来を参考にし、ほ場で飛来を確認したら防除を実施してください。

（4）果樹カメムシ類は日没後に活発に飛翔するため、薬剤散布は午後から夕刻、

または早朝に行うと効果が高くなります。

- (5) 近隣ほ場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (6) 有袋栽培であっても、果実が袋に密着していると袋の上から吸汁されることがあります。
- (7) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
- (8) 収穫期に防除を行う場合は、収穫前日数に注意してください。
- (9) 薬剤の登録内容は農薬情報検索システムで最新情報を調べることができます。

農薬情報検索システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

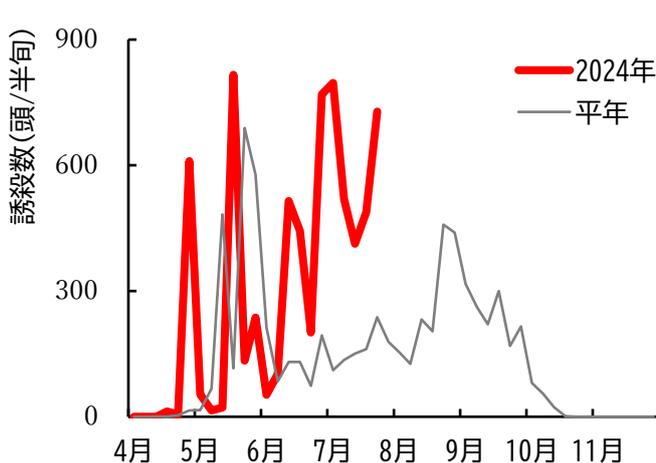


図1. 予察灯（畑・松阪市）における
チャバネアオカメムシ誘殺数

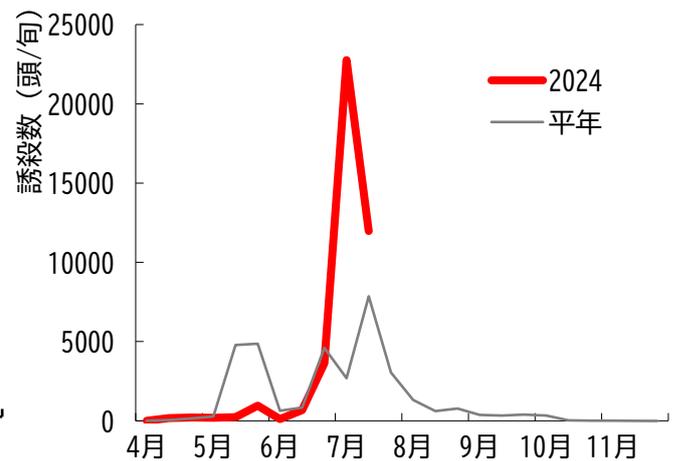


図2. 予察灯（御浜町）における
チャバネアオカメムシ誘殺数

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。